

第8回東アジア地域包括的経済連携（RCEP）

閣僚会合

共同メディア声明（仮訳）

1. 我々、東南アジア諸国連合（ASEAN）構成国並びに、豪州、中国、日本、韓国及びニュージーランドの経済閣僚は、2020年8月27日、第8回東アジア地域包括的経済連携（RCEP）閣僚会合のために集まった。今会合は、ベトナムのチャン・トゥアン・アイン商工大臣が、非ASEANのRCEP参加国ファシリテーターであるニュージーランドのヴァンゲリス・ヴィタリス外務貿易省貿易経済担当副次官と協力して議長を務めた。
2. 閣僚は、COVID-19の世界規模の感染拡大によりもたらされた未曾有の挑戦がRCEP交渉参加国間の貿易及び投資の実績に影響を与えたことを認識した。閣僚は、この挑戦を受けて、必要不可欠な物品及びサービスのために市場を開放し続けることのみならず、COVID-19の世界規模の感染拡大に対する闘いにおいて相互協力及び協働を促進することも、RCEP交渉参加国を含む域内国にとって不可欠となっていることに合意した。
3. 閣僚は、現在進行中の不確実性に照らして、RCEP協定の決定的な重要性を認識した。閣僚は、RCEP協定の署名が、ビジネスの信頼を高め、地域の経済枠組みを強化し、地域および世界の産業面のつながりとサプライチェーンの安定性を維持するとともに、開かれた、包摂的な、ルールに基づく多角的貿易体制に対するこの地域の支持を示すとの認識を共有した。また、閣僚は、感染拡大後の回復のための努力や、地域と世界の経済の成長及び安定への貢献において、RCEP協定が重要な役割を担い得ることを強調した。
4. 閣僚は、2020年11月の第4回RCEP首脳会議において署名するための、RCEP協定交渉の完了に向けた大きな進展を歓迎した。また、閣僚は、2012年の交渉開始以降、インドがRCEP交渉に参加してきたことや、地域の繁栄に貢献するインドの潜在性に鑑み、RCEPがインドに対して引き続き開かれていることを改めて表明した。